

3Dの世界

鶴見 美紀

教員生活 35 年目にして聾教育に出会いました。2 年間でしたが聾学校に勤務してわかったこと、学んだことがたくさんあります。まず聾学校は賑やかだということ。子どもたちは大きな声でよくしゃべります。コミュニケーションを図るには相手の視界にしっかり入って目を見てゆっくり話すこと。後ろからや横から話しかけたり、相手の目を見ないで話しかけるのはタブーです。子どもたちは相手の話の内容を理解しようと視覚、聴覚を集中して聞きます。そして私のように手話や指文字が使えない教員に対しても彼らのほうから配慮したコミュニケーションを図ってくれるのです。ゆっくりしゃべったり、手のひらに文字を書いたり身振り手振りを駆使して。

また聾学校では幼稚部から絵本の読み聞かせをたくさんします。授業や行事などに紙芝居や絵本の読み聞かせをどんどん取り入れています。「お話し会」で読み聞かせの学生ボランティアをしてくれるKさんは、聴覚に障害がある方です。いろいろなジャンルの絵本を、声と手話と表情すべてを使って聞かせてくれます。子どもたちは絵本とKさんの声や口や手の動きや表情に釘付けになって聞き入ります。Kさんの優しい声は子どもたちをふんわり包み込み、生き生きと動く手の言葉に吸い込まれていきます。お話を聞きながら手話で聞き返す子の瞳は輝いています。「わかる！」ってこういう空間を言うんだとみていて感動します。

同じボランティアのWさんは声を使わずに手話と表情とジェスチャーで絵本を読み聞かせます。子どもたちは読み手（語り手）と絵本を立体の画面のようにとらえるのか、くい入るように見えています。こうした絵本の読み聞かせは、絵と読み手の声や手話やジェスチャーや表情が立体的に聞き手を引き付ける3Dの世界のようです。

子どもたちは小さいころからたくさんの本と出会い、はじめは読み聞かせから、そして自分で読めるようになると、読書を通して語彙を蓄積し、概念の形成、思考力を育てていきます。聴覚に障害のある子どもたちにとっては、手話やジェスチャーや表情などが情報の収集を補う手段になっていると思います。

会話や講演において、話し手と聞き手では聞き手が主体であるといいます。コミュニケーションとはまさに「伝えたいことが伝わること」です。これは読み聞かせも同じです。KさんやWさんの読み聞かせでは、絵本と読み手（語り手）と聞き手の3者の深い交わりが子どもたちの言葉や思考力、想像力の形成に大きな役割を果たしていることを知りました。

(つるみ みき/県立協和養護学校校長)

10月の予定

●おはなし会

午後3時から児童室にて

10月10日(日)

『かばくん』

『すてきな三にんぐみ』

10月17日(日)

『ハリーのセーター』

『おにいちゃんにははちみつケーキ』

返却期限を守りましょう ～お知らせ～

筑西市立図書館条例施行規則第20条改正により、平成22年9月1日(水)から、返却予定日から60日間を過ぎても返却されない方は、**資料を借りることができなくなります。**他の利用者の迷惑にならないよう、返却期限を守りましょう。

●てぶくろ人形創作講座

軍手を使ってスノーぼうやと男の子をつくります。

日時：10月24日(日) 午後1時～4時頃まで

場所：明野図書館視聴覚室

費用：材料代500円(当日徴収)

準備するもの：はさみ・縫い針・木綿糸(白)

申込み：10月17日(日)までに明野図書館へ(小学生以上30人程度)



●212歳の押し花絵展

— 野辺の草花と語り、庭の花と笑う。花のある生活・華のある暮らし—
(野町寿子・新井協子・箱守きみさんの作品を展示)

期間：平成22年11月2日(火)～14日(日)

午前10時～午後5時(8日は休館)

場所：明野図書館 視聴覚室



図書館カレンダー

10月 OCT						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

11月 NOV						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

11/16～30は蔵書点検のため休館いたします